

復興デザイン会議 第1回全国大会

危機の中にある都市

日程 2019年12月7日(土)・8日(日)

場所 東京大学本郷キャンパス 工学部1号館

都市は危機の中にある。今なお復興現場で格闘を続ける実践者と、災害と復興のメカニズム解明に取り組む研究者が互いに向き合うとき、何が見えてくるのでしょうか？

阪神淡路大震災・中越地震・東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨などの復興現場で、研究・実践・デザイン活動にかかわる研究者・計画家・設計者が互いの取り組み成果をもとに分野を超えた議論を行うことで、次の復興に向けた知見の体系化と、来るべき災害に備えるための実践的ネットワーク構築を目指して復興デザイン会議 第一回全国大会「危機の中にある都市」を開催します。

プログラム (※変更の場合あり / 詳細は裏面)

12月7日(土) 9:00~19:00

【デザイン】U-30 復興デザインコンペ 公開審査会・作品展示討論会

- 【実践】 小さな学びの復興 建築家の復興デザイン
- 【実践】 復興現場の政策論 実務家による復興デザイン
- 【講演】 基調講演 「都市史と復興」 伊藤 毅 (建築史)
- 表彰式
- 懇親会

12月8日(日) 9:00~17:00

- 【研究】 復興研究の萌芽 若手研究者と復興デザイン
- 【奨励】 U30 復興デザイン討論会
- 【講演】 基調講演 「海岸都市のリスク」 佐藤 慎司 (海岸工学)
- 【国際】 Disaster Re-Design in Abroad 海外の復興デザイン
- 【討議】 全体フォーラム

参加 : 事前申し込み制 (参加無料)

下記、フォームよりお申し込みください。定員となり次第、受付を終了いたします。

<https://forms.gle/bVAXTUJbQteSXBfm7>

会場・受付: 東京大学本郷キャンパス工学部1号館15号教室 (東京都文京区本郷7-3-1)

※ポスターセッションは別会場で実施します。

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_02_j.html (キャンパスマップ)

主催: 復興デザイン会議全国大会実行委員会

事務局: 東京大学復興デザイン研究体

問合せ: [ono.haruka\[a\]ace.tut.ac.jp](mailto:ono.haruka[a]ace.tut.ac.jp) (小野)

大会プログラム

12月7日（土）

- 9:00 開会宣言
- 9:05-12:30 U-30 復興デザインコンペ 公開審査会・作品展示討論会
9:05 作品展示討論会（ポスターセッション）
10:30 最終プレゼンテーション
審査委員：内藤 廣（審査委員長）、宮城 俊作（副委員長）、姥浦 道生、千葉 学、栃澤 麻利、羽藤 英二
- 13:30-14:30 小さな学びの復興 建築家の復興デザイン
乾 久美子 「土木との協働により小さな風景を取り戻す
-釜石市立唐丹小学校・釜石市立唐丹中学校・釜石市児童館での試み」
日野 雅司 「陸前高田市立高田東中学校の復興プロセスと建築家の役割について」
司会：千葉 学
- 14:30-15:30 復興現場の政策論 実務家による復興デザイン -被災者住宅復興支援の効果と課題-
姥浦 道生 趣旨説明「住宅復興の全体像と被災者の意向変化」
菊池 雅彦 「被災者支援の枠組みとその背景」
赤川 俊哉 「山元町における被災者意向の把握」
- 15:45-16:45 U-30 復興デザインコンペ 公開審査会・表彰
- 16:45-17:45 基調講演 「都市史と復興」 伊藤 毅（建築史・青山学院大学）
- 18:00-18:45 研究論文部門／政策・計画・設計部門表彰式
終了後、懇親会 ※会場内・立食形式で実施いたします。（参加費：一般 2,000 円、学生 500 円）

12月8日（日）

- 9:00-11:00 復興研究の萌芽 若手研究者と復興デザイン
小野 悠 2010 年以降の復興研究の動向
鈴木 さち マルチステークホルダーによる大規模災害後の住宅再建プロセス
佐藤 嘉洋 大規模災害時調査の無回答世帯の実態と無回答バイアス：2016 年熊本地震益城町での事例
藤賀 雅人 終戦直後の建築・都市計画制度検討と復興
司会：本田 利器
- 11:00-12:00 U30 復興デザイン討論会
司会：萩原 拓也
- 13:00-14:00 基調講演 「海岸都市のリスク」 佐藤 慎司（海岸工学・高知工科大学）
- 14:00-15:00 Disaster Re-Design in Abroad 海外の復興デザイン ※英語セッション
大津山 堅介 "Mobility, Immobility, and Trapped Populations:
Multiple-Case Study in Myanmar and Florida, U.S."
益子 智之 "Planning and Design for Post-Disaster Reconstruction in Italy"
Richard Martin Rinen "Mapping Flood Control Projects
: An (Historical) Overview of Flood Control Strategies in the Philippine"
司会：井本 佐保里
- 15:15-17:00 全体フォーラム
司会：羽藤 英二
- 17:00 閉会

応募要項

デザイン競技

U-30 復興デザインコンペ

【概要】 災害復興をテーマにした地域デザインの提案を募集します。縮退に直面している地域社会では、新たな復興デザインの方法論が求められています。建築・都市・社会基盤が一体となったトータルデザインが実現する復興のあり方を念頭に、実際の被災地を対象にした復興デザイン提案、又は、来るべき災害に備える事前復興提案を募集します（対象敷地は明示すること）。学校などの公共建築・住宅等の建築デザインや街路・オープンスペース・土木インフラ等の計画設計を中心に、都市や広域の将来ビジョン提示、避難や生業等を考慮した復興プロセスを含む、幅広い提案を期待します。

政策・計画・設計

復興政策賞・復興計画賞・復興設計賞

【概要】 復興現場の厳しい環境下で続けられている計画者・設計者の創意工夫や、地域の人々との丁寧な協働作業が結実した結果として、災害復興は実現します。実際の災害復興と事前復興を目的に実施した政策・計画・設計事業（例：公共空間の計画・設計、災害公営住宅の設計、復興都市計画、避難計画づくりなど）をご推薦ください。デザインの確度・計画設計の内容・実践プロセス・仕組みづくりなどを総合的に審査します。

研究

復興研究論文賞

【概要】 災害復興および事前復興に関する研究への取り組みを通じて、復興に関わる学術的な理論の構築、知見や技術の体系化、研究方法論の確立などに顕著な貢献をなしたと認められる個人を表彰します。自然災害・戦争・原子力事故など、国内外の復興を扱った研究に取り組んでいる個人の自薦・他薦を問わず募集します。

大会及び各賞ホームページ

大会当日までのスケジュール

- 【応募資格】** 30歳以下（2019年3月31日時点）の学生・社会人（個人・グループは問わない）、12/7の公開審査に参加できること。
- 【審査委員】** 審査委員長：内藤廣（建築家・東京大学名誉教授）
副委員長：宮城俊作（ランドスケープデザイナー・東京大学教授）
委員：姥浦道生（復興制度研究者）、千葉学（建築家）、柘澤麻利（建築家）、羽藤英二（都市工学者）
- 【審査方法】** 提出パネルを基に一次審査を実施し、11月上旬にHP上で結果を発表する（本人にも通知）。一次審査通過者を対象に、大会当日プレゼンテーションと公開討議、公開審査により復興デザイン賞を決定します。
- 【賞】** 復興デザイン最優秀賞1点、優秀賞2点程度
- 【提出書類】** 作品パネル（PDF、A1版2枚、縦使い）
※模型は公開審査に持ち込み展示可（任意、90cm×180cmの机に展示）
- 【応募方法】** メール本文に、①応募者全員の氏名と所属、学年（学生の場合）、年齢、②代表者の連絡がとれる電話番号とメールアドレスを明記の上、提出書類を添付し、下記問合せ先のメールアドレスに送付ください。
- 【問合せ先】** imoto.saori@nihon-u.ac.jp（井本佐保里 | 日本大学）
- 【応募資格】** 個人・グループは問わない。但し2010年以降に実施・発表・竣工した計画・設計・実践事例とする。
- 【審査委員】** 審査委員長：羽藤英二（都市工学）
副委員長：小野田泰明（建築計画）、徳永幸久（都市計画）
委員：赤川俊哉（都市計画）、秋田典子（ランドスケープ）、窪田亜矢（地域計画）、千葉学（建築設計）、廣井悠（防災計画）、山口敬太（土木計画）、渡部英二（復興事業）
- 【審査方法】** 提出書類に基づいて審査を行い、11月上旬にHP上で結果を発表する（本人にも通知）。12/7の大会当日に受賞者の表彰式を実施する。
- 【賞】** 最優秀賞1点、優秀賞2点程度
- 【提出書類】** 1. 推薦書（下記HPよりダウンロード）、
2. 事業・作品の計画書・図面・パンフレットなど内容がわかる書類（PDF）、
- 【応募方法】** 提出書類を下記問合せ先のメールアドレスに送付ください。
- 【問合せ先】** hagiwara@bin.t.u-tokyo.ac.jp（萩原拓也 | 東京大学）
- 【受賞対象】** 研究業績をあげた個人
- 【審査対象】** 2010年以降に国内外の学術誌に掲載された復興に関する研究論文1篇と関連する研究論文4編以内（筆頭著者の論文には限らない）
- 【審査委員】** 審査委員長：原田昇（交通計画・東京大学教授）
審査委員：大月敏雄（建築計画）、小林祐司（避難行動）、菊池雅彦（復興計画）、佐藤慎司（海岸計画）、田島芳満（海岸工学）、田中貴宏（都市計画）、羽藤英二（都市計画）、本田利器（地震工学）、円山琢也（交通計画）、森脇亮（環境工学）
- 【審査方法】** 提出書類に基づいて審査を行い、11月上旬にHP上で結果を発表する（本人にも通知）。12/7の大会当日に受賞者の表彰式を実施する。
- 【賞】** 最優秀論文賞1点、優秀論文賞（若手）2点、奨励論文賞（学生）3点程度
- 【提出書類】** 1. 推薦書（下記HPよりダウンロード）、2. 研究論文（PDF）
- 【応募方法】** 提出書類を下記問合せ先のメールアドレスに送付してください。
- 【問合せ先】** ono.haruka@ace.tut.ac.jp（小野悠 | 豊橋技術科学大学）

http://bin.t.u-tokyo.ac.jp/dss/symposium_1.html

- 2019年9月30日 復興政策・計画・設計賞および復興研究論文賞の応募締め切り
- 2019年10月14日 U-30 復興デザインコンペ応募締め切り（9/30から締切を延長）
- 2019年11月上旬 U-30 復興デザインコンペ1次審査結果発表・通知
復興政策・計画・設計賞および復興研究論文賞審査結果発表・通知
- 大会当日 U-30 復興デザインコンペ最終審査、各部門表彰

【U-30 復興デザイン会議のメンバー公募】

概要 復興デザイン会議では、次の復興を担う若手研究者・計画家・設計者・技術者同士の交流を深め、今後のキャリア形成と復興支援・政策提案を実践する組織の設立を考えています。活動に参加してみたい皆さんの応募をお待ちしています。

活動内容例

- ① 災害復興支援（復興調査への参加）
- ② ジャーナル編集（復興当事者・専門家・建築家インタビューなど）
- ③ 復興現場見学会・デザインクリニック企画・運営

応募資格 復興に係る実践・計画・設計・研究に取り組む、または今後取り組みたい30歳以下の研究者・学生・計画家・設計者・技術者を基本としますが、精神的な若手であれば歓迎します。

応募方法 上記HPより書式をダウンロードし、必要事項を記入の上、事務局（萩原 hagiwara@bin.t.u-tokyo.ac.jp）まで送付。